

人体と生活・社会の理解

基礎分野

授業科目	文化人類学	講師	氏名	徳安 祐子	開講年次	2年次 前期	単位・時間	1単位 30時間
			所属	大学				
			実務経験	学術研究員				
科目のねらい	日本には、四季折々の季節があり、茶道、武術、相撲、和食など「日本文化」が海外でも紹介される。それに通じる成り立ちや特徴に注目すると、そこには共通する「日本の心」がある。小さい島国ではあるが、独特な方言や食文化などの多様な生活様式が特徴である。本科目では「日本」を客観視できる力を身につけ、一人ひとりが大切にしている文化的アイデンティティや社会的側面を考慮し、その文化特有の考え方や接し方を知って看護につなげることができる。							
到達目標								
知識・技術	1. 日本文化の特徴を理解し説明できる。 2. 現代と昔の日本の文化と社会の変遷について述べるができる。 3. 日本の行事やしきたりを理解できる。							
思考判断・表現	1. テーマに関する内容を調べ、発表することができる。 2. 日本文化を意識したコミュニケーションがとれる。 3. 日本の文化や行事を調べたことで、「日本のこころ」について自己の考えをレポートできる。							
主体的学習態度	1. 日本文化の特徴と医療を関連付けて考えを述べる。 2. 日本文化を生かした生活とは何かを考え、現在の生活との違いを具体化できる。							
科目評価	グループワーク及び課題・レポート100%							
テキスト								
参考文献								
回数	教育内容	教育方法			講師	関連科目	留意事項	
		講義	演習	その他				
1	文化人類学とは何か	<input type="checkbox"/>			徳安 祐子	教育学 倫理学 多言語コミュニケーション 心理学 社会福祉 各専門看護学 健康教育	課題① 1回目の講義前に「日本の伝統文化を知る」のレポートを提出	
2		<input type="checkbox"/>						
3	「日本のこころ」を知る	<input type="checkbox"/>					課題② 「日本のこころ」についてのレポート	
4	日本の伝統文化	<input type="checkbox"/>					課題③ 「文化と医療」レポート提出 (提出日未定)	
5	日本の衣・食・住	<input type="checkbox"/>					講義前に次回学習内容について調べ学習を行う	
6	日本の言語 (表現の違い・方言)	<input type="checkbox"/>						
7	日本文化について (グループワーク)			<input type="checkbox"/>				
8	日本文化について (発表)			<input type="checkbox"/>				
9	日本の通過儀礼と生活	<input type="checkbox"/>						
10		<input type="checkbox"/>						
11	文化人類学と宗教	<input type="checkbox"/>						
12	日本の世界遺産を知る	<input type="checkbox"/>						
13	神社・仏閣 (支える心)	<input type="checkbox"/>						
14	文化人類と健康			<input type="checkbox"/>				
15	まとめ	<input type="checkbox"/>						